

ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

(以下「ディズニー」という)

第一回ディズニージュニア放送番組審議会

議事録

開催日時 : 2012年07月09日(月) 16:00~17:30

開催場所 : 東京都港区麻布台2-4-5

ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社

テレビジョン部門オフィス

スタジオ・ディズニー会議室

在任審議委員数 : 7

出席審議委員数 : 5

出席審議委員氏名 : 阿部 京子

木下 美子

中川 真弥

前田 耕作

山田 顕喜

その他、ディズニ : 編成部門担当者2名

ーからの出席者

議案

1) ディズニージュニアの番組編成等について

- ・ディズニージュニアの概要について
- ・「放送番組の編集の基準」
- ・「放送番組の編集に関する基本計画」

2) ディズニージュニア放送番組について

(下記の番組については、本会議に先立ち、各審議委員にDVDを送付した。)

- ・「マイ・ディズニージュニア」

審議の概要

1) ディズニージュニアの番組編成について

ディズニージュニアの概要について説明がされ、下記のとおり意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

- ディズニージュニアは、スカパー！e2 の 24 時間放送のチャンネルとして 10 月 1 日（月）に開局予定。ターゲット視聴者層は 2~7 歳で、子供たちにとっては「ディズニーの魔法の世界への入り口」の位置づけとなる。
 - ディズニージュニアのオリジナル番組には、計 10 名の児童教育の先生が 監修についており、子供たちはこれらの番組を通して、発見する、考える、創造性を育てる、自立心を持つ、人と関わる、音楽に触れる、自然と触れ合う、物質や数量や文字を学ぶ、言葉で表現する、外国語に触れるなどの機会を持つことができる。
 - ほとんどの番組は二か国語放送で、クローズドキャプションで英語字幕も 出す予定。この英語字幕はまだディズニー・チャンネルにはない機能なので、ターゲットの 2~7 歳より少し大きい子供たちも英語を学ぶことができるかもしれない。週末には映画を放送する時間枠もあり、親子で楽しめる時間として、ディズニーらしい作品を入れる予定。
-
- 英語教育を始める年齢はどんどん下がってきており、英語放送というのは 良いと思う。日本では、他局でも広くやっているのだろうか？
 - 非常に手間も掛かるため、あまりないと思われる。
 - 子供たちにとっては、字幕があっても読めないかもしれない。
 - お子さんの年齢等に合わせて、保護者の方に上手く活用してもらいたい。
 - 今まででは、例えば 19:00~20:00 台の時間帯などで、小さい子供たちは、 年齢が上の兄弟などの番組視聴に付き合わされているケースが多かった だろうが、このように小さい子供向けの番組を中心とする専門チャンネル がスタートすることは良いこと。ニーズにマッチしていると思う。
 - 番組によっては、例えば『チップとデールの大作戦』などは、年齢が少し 上の子供たちも、小さい子供たちと一緒に楽しむことができるので、その ような番組も編成に織り交ぜている。
 - ディズニーのアニメーション作品は健全なので、そういう意味でも良い。
 - 幼稚園や保育園などでも、このような局のニーズがありそうだと思う。
 - そういった教育の場で視聴してくれると、今度は家庭での視聴につながつ てくれるかもしれない。

続いて、「放送番組の編集の基準」及び「放送番組の編集に関する基本計画」について説明がされ、それぞれ原案の通り承認された。

2) ディズニージュニア放送番組について

ディズニージュニア放送番組について各委員より意見交換が行われた。

(以下●印 審議委員からの意見及び質問、○印 ディズニーからの出席者の回答)

『マイ・ディズニージュニア』について：

- まず番組全体としては、プレイハウスディズニーからディズニージュニアへのリニューアルに合わせて、よりエンターテインメント性を重視し、ディズニーキャラクターをもっと多く取り入れて、また、視聴者年齢層も7歳まで上げるという趣旨がある。
 - このシリーズについては、保護者の方々の意見も取り入れて、相互性をより多く取り入れて（問い合わせやクイズなどを含め）、一方通行にならないように配慮している。
 - また、以前は番組収録に集められる子供たちの数が限られていたため、年間の番組参加人数を300人くらいまでに大幅に増やしてみた。収録への募集も大変人気で、前回は数千件の応募があった。
 - 英語の歌を入れてほしいという要望も強かった。これについては、バイリンガルのマリカのきれいな英語の発音で、保護者の方々も安心できるかと思う。
 - ピョンピョン動き回るものについては、何とか近隣に迷惑にならないようにと制作チームも工夫をしている。例えば、激しい動きを伴う場合は、「外でやっても楽しいよ」と一言付け加えたりしている。
-
- ダイスケとマリカの動作と言葉のスピードが少々早いと感じた。
 - 3, 4歳の動きに合わせてしまうと、少し上の年齢の子供たちが、妹・弟向けの番組だと思ってしまうので、7歳の子供も対象に含まれているため、そこは悩みどころである。よく検討したいと思う。
 - 子供たちは同じものを何回見てもなかなか飽きない。繰り返し部分が多くても良いと思う。
 - 保護者の方々も新しいものを求めているため、定期的に入れ替えないと、飽きられてしまうところもあり、この点も悩ましい。
 - 登場する絵には説得力がある。
 - 数字を数えるところでは、下の方に数字が出てくると分かりやすいかも。
 - ダイスケの体操コーナーも子供たちがとても楽しそうで良かった。こういった場面では子供たちがニコニコしていることが大切。
 - 英語の発音については、口の動きなどが出るとよいのでは？

- 難しい発音の場合は、マリカの口をアップして見せるようにしている。
- 英語を学ぶ=コミュニケーションが大切、と監修の先生よりアドバイスを受けており、ついしゃべりたくなるようなエンターテインメント性も取り入れていきたいと思う。
- 参加者の選び方については、色々な年齢の子が混じっていると面白いかもしない。つまり、画面の中で、年齢の違った同士の交流ができれば良いと思う。待機中にはMCは子供たちと一緒にいるのだろうか？
- 仲良くなる時間を多く作るようにしている。
- アドリブなども拾っていけると、さらに面白くなると思う。
極端な話、ちょっと失敗しているところなどがあると、自然でリラックス感も出る。
- 番組内のコーナーの数が多いところも、細切れでセサミストリート風で、個性があつて良いと思う。
- 絵をかくコーナーについては、子供たちにとっては難しいかなと感じた。
もう少し簡単にならないだろうか？
- もし上手く描けなかつたとしても、正解というものは特にない。
描いてみるというプロセスが大事なので、慣れ親しんでくれればと思う。
- インターナショナル性を出したらどうだろう。
- 実は外国人のお子さんも一定数参加してもらっていて、国際色を出すようにもしている。
- 前回見た第1回目放送分と今回試写した第66回目を比較すると、色々な意味で進化しており、とても良くなっている。
- 制作している中で、何か新たな発見等はあつただろうか？
- お子さんたちは、リハーサル1回で十分だという点。吸収が速く、驚いている。
- 収録は学校等がある平日も使っているのか？
- 普段のリズムを保つことは大切で、学業等は疎かにしてはいけないので、すべての収録は週末を使っている。
- 料理を作らせるコーナーなどあると、いいかも知れない。
- 幾つかハードルがあるが、いつかは取り入れてみたい。

以上をもって本会議は、議案の審議を終了したので17:30に閉会した。

上記の議事の経過の要領及びその結果を明確にするため、本議事録を作成する。